

武漢市で人気の中国茶のお店について

大分市武漢事務所 賈 芳

武漢市には「網紅店（わんほんてん）」といわれるインターネットで話題の店がたくさんあり、そこでは「奶茶（ないちゃ）」（ミルクティー）などを楽しむことができます。武漢市民に美味しい飲み物を提供するとともに、街の賑わいづくりにも貢献しています。

それでは、武漢市で特に有名なお店を皆さんにご紹介します。

■茶顔悦色（ちやいえんゆえせー）

茶顔悦色は2013年に長沙で創立されたお店で、中国茶の包装から店の内装まで、古代中国風のデザインに統一されており、地域のナンバーワンブランドの地位を確立しています。

2020年12月に湖南省長沙から武漢市に出店した際、開業当日に8時間待ちの状態だったこともあり、weiboのホット検索にランキングされました。その後、漢口地区を中心に武昌地区や洪山地区に広がり、武漢での店舗数は6か月で24か所にまで増えました。

武漢市の出店に際しては、武漢市のイメージに合わせて、外装や内装を武漢風に行っているほか、店内では武漢市の有名な観光地である「黄鶴楼」をモチーフにしたバッジや武漢の朝食文化をテーマにしたバッグ、文房具などを販売しています。



■爺爺泡的茶（いえいえぱおでえちゃ）

爺爺泡的茶を翻訳するとおじいちゃんの水淹れたお茶という意味です。「山で誕生し、武漢市にきました」をテーマに、2016年に武漢市で創業された中国茶ブランドで、新鮮な果物茶を提供するお店として人気があり、武漢市内にある各店舗とも「網紅」になっています。

※写真は武漢事務所スタッフ撮影

武漢市で人気の中国茶のお店について

大分市武漢事務所 賈 芳

■茶百道（ちゃばいだお）

茶百道は2008年に四川省成都で創業されたチェーン店で、中国のほとんどの都市（全国4,000店舗）に出店しています。

中国茶を作る原点に立ち返り、原材料や技術にこだわった飲み物を作っています。抽出する原葉は新鮮なものを厳選し、渋みのエキスを取り除くだけでなく、香りを保つ製法にこだわっています。お茶と新鮮な果物の極上のハーモニーが売りで人気を博しています。



■奈雪の茶 NAYUKI

奈雪の茶 NAYUKIは、2015年に広東省の深圳市で創業し、同市に本社を置いています。20歳～35歳の女性をメインターゲットとして、美味しいお茶とパンを提供するお店です。お茶を作るとき元の茶葉を4時間ごとに交換することで有名で、お店を訪れる人はいつでも新鮮な美味しいお茶を飲むことができます。2019年には「中国茶ブランドトップ10」に選ばれています。現在、全国に854店舗出店していますが、全て直営店であり、フランチャイズ加盟店を受け入れない経営戦略が特色です。2021年6月30日には、香港証券取引所に正式に上場しています。



※写真は武漢事務所スタッフ撮影

武漢市で人気の中国茶のお店について

大分市武漢事務所 賈 芳

■喜茶HEY TEA (ひーちゃ)

喜茶 HEY TEAは、2012年に皇茶ROYAL TEAという名前で、武漢市にある川辺里という路地で創業されましたが、ブランドを模造する店が増えたため、登録名を喜茶HEY TEAに変更し、売り出しました。チーズを加えたミルクティーが売りで、創業以来、高品質なお茶の香りを提供することに注力しており、中国の伝統的なお茶文化に新たな風を起こしています。



■古茗 GOOD ME (ぐーみん)

古茗 GOOD MEは、2010年に浙江省の台州市で創業されました。現在では、浙江省をはじめ、福建省、江西省、湖南省、広東省、湖北省、重慶市、四川省など18の省、140都市に出店しており、全国に6,000を超えるフランチャイズ店を抱える有名ブランドです。また、イタリアにも店舗があります。



暑い夏には、今回紹介したようなオシャレなお店で冷たいお茶を飲むのが楽しみの1つです。デリバリーサービスを利用してオフィスで楽しむ人もいます。今年の夏も美味しいお茶を飲みながら乗り切りましょう！

※写真は武漢事務所スタッフ撮影